

北海道高等学校PTA連合会大会（胆振・日高大会）参加報告

令和元年6月1日（土）と2日（日）の2日間日程で、北海道高等学校PTA連合会大会（胆振・日高大会）が苫小牧市で開催され、全体講演会や分科会で情報交換等が行われました。全道各地から約1000名ものPTA関係者が一斉に集い、本校からは谷口PTA会長と折笠教頭の2名が参加しました。

大会初日の会場はグランドホテルニュー王子でした。全体講演会では、講師に元日本ハムファイターズ内野守備走塁コーチ兼作戦担当の白井一幸氏を招き、「可能性を引き出すコミュニケーション」という演題でお話しをいただきました。氏は、テレビ番組のコメンテーターも務めているため話術に富み、時折ユーモアを交えながら、90分という長い時間にもかかわらず、聴衆を引き込みながら、最後まで笑い声の絶えない楽しい一時となりました。「可能性を開く鍵は意識の持ち方と行動力」という信念のもとに、大谷翔平選手をはじめとした多くの有名野球選手を育て上げてきた経緯を、様々なエピソードを交えてお話しいただきました。

大会2日目は苫小牧東高校と苫小牧工業高校を会場として、「学校行事へのPTAとしての関わりについて」、「学校に足を運びたいくなるPTA活動」など、39の分科会テーマが設定されていました。私たち訓子府高校は、北海道えりも高等学校による「学校・地域・PTAの協働による活動のあり方について」と、北海道栄高等学校による「学校行事へのPTAとしての関わりについて」とに分かれて、各学校の取組や現状をとおして、情報交換・意見交換等を行ってきました。様々な交流や学びが多く、大変有意義な研修となりました。

